

## 健康経営優良法人2018認定

アンリツ(株)は、経済産業省の「健康経営優良法人2018」において、定期健康診断・ワークライフバランス・健康増進・生活習慣予防対策・メンタルヘルス制度・施策の実施状況調査により選定基準をクリアしたことから、大規模法人部門(ホワイト500)に2年連続で認定されました。

健康経営優良法人認定制度とは、健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みのもとに、優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度です。評価項目は、経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「健康経営銘柄」で用いる評価のフレームワークによる、①経営理念、②組織体制、③制度・施策実行、④評価・改善、⑤法令遵守・リスクマネジメントからなる5つの評価項目により認定されます。



## 働き方改革の取り組み

国内アンリツグループでは、長時間労働による健康障害発生防止の観点から、時間外労働の削減、深夜時間帯勤務の極小化、定時退社日運用の徹底などの全社共通マネジメント方針に基づく労働時間適正化施策を継続的に進めています。

さらに、「長時間労働＝仕事ができる」という認識はもはや過去のものであるという認識に立ち、2016年8月から「朝の活力とともに元気に明るく働く」方針を掲げ、始業時間出社の励行、19:00以降原則退社とし消灯を実施、会議時間の短縮・効率化の推進などの施策を強化し、生産性を向上させてイノベーションを起こし、企業価値向上へつなげることを目的とした働き方改革を推進しています。

# サプライチェーンマネジメント

## 社会的課題の背景

アンリツグループは、日本および海外でグローバルに調達活動を展開しており、この調達活動においては、国内外のすべての企業に機会を提供し公平な評価により調達を実施しています。取引先さまのご協力を得ながらさまざまな活動に参画いただき、より強固なパートナーシップを構築していくことや、関係する法律、商習慣、社会規範を遵守することを基本に、地域環境保護を含めサプライチェーン全体で社会の期待・要請に応えていきます。

## 方針

調達活動にあたり、取引先さまとサプライチェーン全体で活動し、相互の成長につなげていくことが非常に重要であると考えています。取引先さまとの相互信頼に基づいたパートナーシップを構築するために、2005年に「資材調達基本方針」を制定し、取引先さまにご理解とご協力をお願いしています。

詳細(WEB)  
資材調達基本方針

## 体制

アンリツは、主に米国、中国、日本に調達拠点を構えており、部品の採用における評価基準をグローバルで統一化する活動を進めています。これにより、各拠点が認定したサプライチェーンの相互活用が可能になり、グローバルで連携した部材調達活動を促進しています。

また、グループ企業全体で共通して取引できる取引先さまを、グローバル推奨サプライヤ(GPS: Global Preferred Supplier)として相互認定し、取引先さまと開発ロードマップや技術的課題を共有することで、製品開発のTTM (Time To Market) 短縮を実現していきます。

日米共通の取引先評価基準を取り決めることで、これまでグローバル推奨サプライヤ企業を8社認定し、相互利益向上と関係強化を図っています。

## 中長期目標

新中期経営計画GLP 2020で次の目標を掲げて取り組んでいます。

### ①グローバルなCSR調達の推進

海外取引先さまを含むサプライチェーン全体で、人権・労働・安全衛生を遵守するCSR調達を推進し、グローバルサプライチェーンの強化を図ります。CSRアンケートや取引先さま訪問等によるCSR調達推進活動を通してCSRアンケート評価点の向上を目指します。

### ②グローバルなグリーン調達の推進

海外取引先さまを含むサプライチェーン全体で環境に配慮したグリーン調達を推進し、グローバルサプライチェーンの強化を図ります。取引先さまの環境取り組み状況の調査を実施し、取引先さまの環境取り組みのレベルアップ活動を通じて、環境パートナー認定取引先の比率向上を目指します。

## 進捗と課題

以下の取り組み/活動実績に記載しています。

## 取り組み/活動実績

### アンリツグループCSR調達ガイドラインの制定

2010年度に、(一社)電子情報技術産業協会(JEITA)の「サプライチェーンCSR推進ガイドブック」に準拠して、「アンリツグループCSR調達ガイドライン」を制定しました。アンリツWebサイトに公開するとともに、新たな取引先さまとの取引開始時や取引先さまへの方針説明会の中で、「CSR調達」への理解と取り組みをお願いしています。

詳細(WEB)

アンリツグループ  
CSR調達ガイドライン

### CSR調達推進のための取り組み

2011年度からCSR調達の推進に対して協力をいただくために、「同意書」のご提出をお願いしており、多くの取引先さまから同意書をいただいています。また、取引先さまでのCSRへの取り組みを確認する目的で「CSRアンケート」を実施しています。2017年度は、主要な取引先さま116社より回答を受領し、良好な結果を得ています。さらにCSR活動の取り組みをヒアリングするため、取引先さま訪問を実施しました。そのほか、コンプライアンス実践に向けて取引の透明性を実現するために、毎年、取引先さまに“クリーン調達”へのご協力をお願いしています。接待や贈答品を受けない、取引先さまのインサイダー情報をもとにした株式などの売買は行わない、などの行動規範・遵守事項を定めています。さらに、取引先さまからの生の声によりCSR調達を推進するため、“声の直行便”ポストを本社と郡山事業所の商談室に設けています。今後もより一層、CSR調達への理解と取り組みを取引先さまと進めていきます。

## グリーン調達ガイドライン

アンリツグループでは、環境に配慮した製品づくりを取引先さまとともに推進するために、1999年度に「グリーン調達ガイドライン」を定め、環境に配慮した部品や材料を優先的に調達するグリーン調達を実施しています。2011年度からは、生物多様性保全の考え方を取り入れ、取引先さまにご理解いただくよう取り組んでいます。2016年度から、「アンリツグループグローバルグリーン調達ガイドライン」に改め、生産拠点のある海外グループ会社とグリーン調達の共通化を行っています。

詳細(WEB)  
アンリツグループ  
グローバル  
グリーン調達ガイドライン

## 環境パートナー企業認定制度

2001年度から、環境パートナー企業認定制度を設け、取引先さまの環境マネジメントシステムの構築や製品アセスメントの実施状況について評価し、三段階の格付けをするとともに、取引先さまの環境への取り組みの推進を図っています。2017年度は、特に含有化学物質(RoHS)評価において、改善の余地がある取引先さま4社を選定し、改善活動を通じて4社すべての環境パートナーの格付けがランクアップしました。

現在の環境パートナー企業認定企業数は、245社です。(2018年4月末実績)

### 環境パートナー制度における格付け

Aランク	管理を確実にしている	
Bランク	いくつかの側面で欠落がある	サポート/改善を実施
Cランク	確実に管理するシステムが無い	

## 紛争鉱物問題への対応

2012年の米国金融規制改革法第1502条(いわゆる紛争鉱物規制)の最終規則採択を受け、アンリツもこの趣旨への賛同を表明し、アンリツ製品に紛争鉱物が含まれることを防ぐためにサプライチェーンへの対応を開始しました。取引先さまに対して説明会を開催し、漏れの無い対応を行っています。

お客さまからの問い合わせに対し、国内外の取引先さまに調査を依頼して回答しています。今のところ、確認できている範囲で紛争鉱物の利用はありません。

## 取引先さま製品展示会

2017年11月に47社の取引先さまによる製品展示会をアンリツ本社で開催しました。アンリツグループの製品資材を調達している主要取引先さまの製品、技術が一堂に会する催しで、毎年行われています。今回は、ワイヤレス通信(5G/IoT市場、車載市場向けなど)関連部品、光/電気高速デジタル伝送(クラウド市場など)の関連部品およびソリューション、光部品、食品や薬品の検査機器市場向け汎用電気部品、放熱対策部品、EMC\*対策部品などを含む新製品や新技術がアンリツの開発エンジニアに紹介されました。同時に、取引先さまによるセミナーを開催し、最新技術の習得を図りました。

\*EMC (Electro Magnetic Compatibility) : 電磁環境両立性

## 英国現代奴隷法 2017年度の取り組み

2016年度に「英国現代奴隷法」ステートメントをアンリツ(株) およびAnritsu EMEA Ltd.が開示しました。

2017年度の取り組みとして、関係部門でタスクフォースを作り人権デューデリジェンスを行い、CSRアンケートを主な取引先さま116社に対して実施しました。サプライチェーンの人権リスクについては、CSRアンケートの回答内容を分析・評価し、リスクの把握を行いました。その結果、現時点で喫緊の問題はなく、人権リスクが低いことを確認しました。

詳細(WEB)  
人権と多様性の尊重  
各国法制への対応

## 取引先さま懇親会

2018年1月に、取引先さまを招いた懇親会を開催し、海外の取引先さまを含む153社、283名の取引先さまにお集まりいただきました。5G/IoTをテーマに、グローバル・マーケットリーダーを目指すための方策や事業展開を説明するとともに、資材調達のグローバル体制のもと、協働と協創によるバリューチェーン拡大のために、さらなるパートナーシップ強化を取引先さまに呼び掛けました。また、品質・納期・価格すべての面ですぐれた取引先さまを表彰しました。

## パートナーQU (Quality Up) 提案活動を推進

取引先さまとのコミュニケーションツールとして、アンリツに対する改善案・要望点・ご意見などを提案いただく「パートナーQU (Quality Up) 活動」を推進しています。調達に限らず、営業・技術・製造・サービス・安全衛生・環境・CSRなど幅広い分野での提案を受け付けており、当社の業務改善に役立っています。

活動を推進しサポートする協議会では、いただいた提案を審議し採否を決定するとともに、表彰会社を決定しました。2017年度は、設計変更によるコスト削減や手配方法変更による納期改善など、62件の改善提案をいただき、このうち36件を採用しました。

## コラボレーションルームの設置

アンリツの開発エンジニアと取引先さまとのコミュニケーション活性化のため、社内にコラボレーションルームを開設しています。メーカー・代理店のセールスエンジニアに日替わりで駐在していただき、新たなソリューションを生み出せる環境を整備しています。

# 品質と製品安全

## 社会的課題の背景

アンリツの社会的使命は、「安全・安心で豊かな社会」の実現に貢献していくことです。国内アンリツグループでは、安全な製品をお客さまに提供することを目的に、製品事故予防策および万一事故が発生した時の対応についての基本的事項を定め、製品事故防止に努めてまいりました。2017年度は、この活動をさらに強化するために、国内アンリツグループ各社の品質責任者で構成される品質マネジメントシステム専門分科会のもと、部品起因による製品事故の未然防止策の検討を開始し、グループ横断的な品質向上に努めています。

詳細 (WEB)  
品質と製品安全

## 方針

アンリツは、「誠と和と意欲をもって、“オリジナル&ハイレベル”な商品とサービスを提供し、安全・安心で豊かなグローバル社会の発展に貢献する」という経営理念のもと、お客さまと社会に満足される商品とサービスを提供するために、国内アンリツグループ共通の品質方針および行動指針を定め、品質向上を図っています。

### 品質方針

顧客と社会に満足される商品を誠と和と意欲をもってつくる。

### 品質方針に関する行動指針

- 不具合品を出さぬよう、仕事に誠心誠意取り組む。
- 後工程はお客様。全体の調和を配慮し行動する。
- 意欲をもって、改善提案する。